

消

こんにちは！
費生活相談室です 117

消費生活相談室 ☎47-1106 FAX44-7957

◆トラブルを防止するために
契約書・重要事項説明書を読み、原状回復に関して借主の負担についてよく確認しておきましょう。

◆借主には「原状回復義務」がありますが、入居時の状態に完全に戻すまでの必要はなく、故意や不注意により生じた傷や汚れなどについて負う責任です。

◆借主には「原状回復義務」がありますが、入居時の状態に完全に戻すまでの必要はなく、故意や不注意により生じた傷や汚れなどについて負う責任です。

賃貸住宅の敷金返還トラブル

新年度に向け、就職・転勤・進学などで新しい住居を契約したり、これまでの賃貸住宅を退去することが増える季節です。それに伴いトラブルも増加する傾向にあり、特に退去時の敷金返還に関するトラブルが多くな見受けられます。

◆入居前

室内の傷や汚れ等を家主または管理会社と立会い確認し、写真などで記録を残しておきましょう。

◆入居中
タバコやペットによる汚損・破損などは借主の故意・過失・管理不十分によるものと考えられ、原状回復費用は借主の負担となります。室内は丁寧に使うように心がけましょう。

◆退去時
国土交通省が公表している「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」は原状回復の費用負担のあり方について一般的な基準を示しています。借主の負担すべき費用について判断の参考になりますので、退去の立会いまでに読んでおくとうよいでしょう。

◆相談受付時間

毎週月～金曜日
午前9時～正午・午後1時～4時

み

みんなで拓く人権文化 103

地域振興課人権政策室 ☎47-1102



《愛妻家はあっても
「愛夫家」ってないな...》

(出典:「あっ そうか! 人権2」財団法人人権啓発推進センター発行)

このような光景をみると「愛妻家」だね、と言われる。しかし、逆に妻が掃除機をかけ夫が本を読んでいる光景は、「愛夫家」でしょうか。いえ、まだ「当たり前」としか見られていないのではないのでしょうか。性別による固定的役割分担意識が、まだまだ家庭の中にも残っているようです。

昨年一昨年、市内全域で開催させていただきました『男女共同参画社会をめざして』をテーマとした人権学習地区懇談会の中で、60歳以上の方から、「今頃の若い夫婦は夫も家事に参加しており、我々とは変わってきたと思う」という意見がありました。お互いが協力して家庭を築いていくという考えが広がってきているようです。

図書館に行こう！

(市民図書館 ☎47-1099 ホームページアドレス <http://lib.city.sakaiminato.tottori.jp/>)

『河北新報のいちばん長い日-震災下の地元紙-』
河北新報社

『和本のすすめ-江戸をよみ解くために-』
中野三敏

『サバンナの動物親子に学ぶ』
羽仁進

動物たちの多くは「生と死」を一つのつながりの中でとらえています。生の中には必ずしも死もふくまれています。

◆開館時間 午前10時～午後6時
◆休館日 毎週月曜日・毎月末日
◆貸出冊数・期間 一人5冊・2週間
◆絵本・児童書 新刊書のほか、読み継がれてきた名著がたくさんあります。
※蔵書点検整理等のため、2月19日(日)～29日(水)の間、全面休館します。

◆図書利用案内
◆開館時間 午前10時～午後6時
◆休館日 毎週月曜日・毎月末日
◆貸出冊数・期間 一人5冊・2週間
◆絵本・児童書 新刊書のほか、読み継がれてきた名著がたくさんあります。
※蔵書点検整理等のため、2月19日(日)～29日(水)の間、全面休館します。

◆本のすすめ
◆和本のすすめ-江戸をよみ解くために-
◆サバンナの動物親子に学ぶ
◆死者たちの語り-戦争と文学-

お忘れなく！
国民健康保険税 8 期
後期高齢者医療保険料 8 期
の納期限は
2月29日(水)です。
・便利な口座振替をご利用ください。
・納期限内に納付がない場合、納期限後20日以内に督促状を発送します。

電気自動車(日産リーフ)
エコなドライブを体験しませんか?
土日・祝祭日 貸し出し中!

◆貸出場所: 境港市観光案内所 (大正町215番地、みなとさかい交流館1階)
◆貸出料金: 12時間まで5,250円
◆申し込み・問い合わせ先
◇JR西日本レンタカー&リース株式会社
☎0088-24-4190 (フリーコール)

市民の方は 10%割引!

あの写真 この写真

写真右側が旧境港駅舎とプラットホームで、左側が新しく完成した駅舎です。出発式を間近に控え、駅舎前の最終整備の慌ただしさが伝わってきます。

明治35年、山陰初の鉄道、境・御来屋間の鉄道が開通し、その後、大正3年に600メートル北側の大正町に移転。大正8年には駅名も「境港駅」と改称され、平成7年の区画整理に伴って現在地に移転しました。実に約1世紀の間に3度駅舎が作られたことになりました。

当時「陸の孤島」といわれていた山陰から脱出すること、敷設資材運搬に便利なこと、大陸間交易を展望した海上交通などから、山陰一の良港の境港を起

点とした鉄道敷設となったのです。当初は山陰山陽連絡線・山陰西線といわれており、「境線」の名称がつけられたのは、明治42年10月になります。

馬場崎町に新設された旧境港停車場跡地には「山陰鉄道発祥之地」と刻まれた記念碑(市指定文化財)が立っています。

馬場崎町踏切から現在の緑地帯に沿って東にカーブしていた旧プラットホームと旧駅舎は見ることはできませんが、駅前駐車場の時計台付近が旧駅舎の玄関口であると職員さんから聞きました。

構内引込線の跡地には「みなとさかい交流館」が建ち、駅前から続く「水木しげるロード」の今の賑わいは、しゃれた灯台の駅舎建設から始まったのです。

(市史編さん室 小瀬浩)

現在の同所を撮影。境港駅の奥は「みなとさかい交流館」の建物